



베

3 どのような経路で届い

ちこぼれた。

4 盗聴されていないか

1月の大学入学共通テス

活用のSNS(ネット交流

編集・校閲などの既存メデ 匿名で、取材・事実確認・

る」。ところが、SNSを

空間的な条件も前提にな う時間軸や地域事情などの

・無視される。情報内容は ィアの伝統的な作業は軽視

脈は不要で「Xは140字 主流とする情動社会では文

の後に何が続くか気になら

じい。特にインターネット

情報社会の変貌はすさま

る強盗事件も相次ぐ。

発信者・投稿者の大半は

ソの求人広告で実行犯を募

さえながら理解する。他者

の文脈を把握し、歴史とい

宮武

れるのに最も適当なものを

0~4から一つ選べ。

インターネットで情報

トで新学習指導要項に即し

初めて作成された「情報I」

界で推定50億人。 X (旧ツ サービス)の利用者は全世

の最初の設問である。

正解は2で、筆者は勘で

当てたが、その後は手も足

ム、ユーチューブなどが活 ク、ライン、インスタグラ イッター)、フェイスブッ

も出なかった。何しろ「I 況を誇る。誰でも "1人テ ク」機関は日本では数団体 検証する「ファクトチェッ 事実か、正確か、を調査・

> かどうか、切り取った部分 ない、インスタは『映える』

象でいい」(毎日新聞20 だけ。断片でもいいし、印

24年11月21日夕刊要旨)。

情動」と「情報」の攻防

どう対処すべきか。 佐藤教授は意外にも「待

つこと」と助言する。

報の真偽も時間がたてばお のずから分かる場合が圧倒

的に多い」からだ。もちろ

ん既存メディアは待つので

署名を用いると、その情報

とメディ

]を確認できる

が本人であることを確認す をやり取りする際、発信人

用できる。また、デジタル るためにデジタル署名が利

暗号化されているか 複製されていないか

「チェックデジット」など 「7セグメントLED」

なって、情報を発信・拡散

「偽情報」の恐れがつきま

・交流できる。

レビ局。 "1人週刊誌"に に過ぎない。常に「誤情報」

など、用語自体が分からな

2

Pアドレス」「HTML」

い。「情報」業界で生きて

及び、東京都や兵庫県の知

己上智大教授は、この現象

メディア史専攻の佐藤卓

その威力は生活の隅々に

改ざんされていないか

の教授などを経て現職

員長から埼玉県立大、目白大大学院

みやたけ・ごう毎日新聞論説副委 きたつもりだが、完全に落 事選で強大な影響力を見せ の横行、振り込み、投資、 に追い込む中傷・嫌がらせ 一方、時に相手を自殺 を「情動社会」と名付け、

結婚の特殊詐欺の続発、ウ 能力)で、前後の文脈を押る覚悟だ。(本紙論説委員) こう解説してくれる。 のはリテラシー (読み書き フォクトチェック機関にな 「情報社会で求められる

公表する使命がある。自ら はなく、おびただしい「 動」の真偽を調査・検証